

## SCE・Net の活動と成果

## ■ 業務受託

- ・**大学関係**：プロセス制御講義(2010～2013年)、化学工学基礎講座(2008年～)
- ・**官公庁関連**：戦略的基盤技術支援事業技術評価(2013～2015年) 事事例チェックポイント整備(2015年)
- ・**化学会社**：化学プラント事故防止指導(2007～)、機能性ポリマー製造プロセス構築のための技術指導(2010年)、評価シミュレーション技術指導、高粘性流体の混合(2011年)、合成アルコール触媒・分離精製技術指導(2011年)、発酵プロセスガス回収・精製技術指導(2013年)、窒素ガス回収コンサルティング、工場法令対応調査、工場予防保全コンサルティング(2014年) など
- ・**装置メーカー**：マレーシア現地製造会社・業界状況アドバイス(2010年)
- ・**制御器メーカー**：次世代制御システムに関するコンサルタント(2011～2013年)、
- ・**その他**：粉塵爆発防止技術指導(2012年)、下水処理発電プロセスに関する技術指導(2012年)、工業化解析(2013年)、バイオマス化学プロセス調査、化学技術出張講義(2014年)、各種特許調査(2015) など

## ■ 公開講座

- ・社会人向け公開講座(2009年～) 初心者のための化学工学入門講座(2014年～)

## ■ 出版執筆

- ・安全研究会：AICHEのCCPS(The Center for Chemical Process Safety)との共著「事例に学ぶ化学プロセス安全」出版
- ・装置材料研究会：「プラント損傷事例集」CD版市販
- ・エネルギー研究会：「図解新エネルギーのすべて」改訂3版および韓国語版、「熱とエネルギーを科学する」出版

## ■ 産学官連携

- ・インケム産学官マッチングフォーラム司会を担当(2009、2011、2013、2015年)
- ・グリーン・イノベーション EXPO2012 産学官マッチングフォーラム司会を担当(2012、2014年)

## ■ 研究会

**安全研究会**：CCPSが発行しているPSBを翻訳し、AICHEのHPに掲載すると共に、記事についてのコメント集を「談話室」としてSCE・NetのHPおよび「化学装置」(株工業通信)に掲載しています。2015年には「事例に学ぶ化学プロセス安全」を出版しました。また、経産省プロジェクト「現場で活用可能な保安に係るチェックポイント集作成」にも参加しています。

**エネルギー研究会**：2015年度は活動の中で最新鋭石炭ガス化発電所を見学しました。2016年度はその延長として地球温暖化問題などを中心にしたテーマ発表による自己研鑽に努め、その成果は学会発表や雑誌投稿を予定しています。

**神奈川研究会**：神奈川地域を中心に10名の会員が、横断的テーマ、特にエネルギー・環境・資源を中心に、時には価値観や社会習慣にまで踏み込んだテーマも取り上げ研究を行っています。その成果は、学会の総会の場や雑誌にも発表されています。時には、研究関連の見学等も取り入れ、外部との意見交換を行っています。

**環境研究会**：会員は現在7名です。中国の環境科学技術論文誌4誌から題材をとって中国の環境問題と中国の汚染防止技術を考え、年に3、4回、「中国環境科学技術情報サービス」を発行して30数社の企業様にお届けしています。化学工学会年会等での発表のほか、公開講座「原子力・放射能基礎論」をサポートしています。

**環境経営研究会**：会員は現在6名です。社会に役立ち企業自身にもプラスになる環境経営を研究して成果を発信することを目指し、CSR・環境報告書への第三者意見提言はじめ、作成支援、環境・安全への取り組みへの助言などを行っています。

**装置材料研究会**：金属材料の腐食・防食技術等に関する情報交換を目的に、研究会を開催するとともに、プラント材料に関する損傷事例を継続的に収集し、「プラント損傷事例集」(CD-ROM)を出版しています。2016年3月の化学工学会年会に於いては、損傷事例集をポスター発表いたしました。

**福島問題予備研究会**：福島第一原発事故関連の諸問題について公開資料や現地調査による情報収集を行い、シニアケミカルエンジニアが取り組むべき課題を探っています。2015年度は汚染水対策支援の可能性を探るべく活動を行い、年会シンポジウムでの発表や化学工学会への提言に成果を反映しました。

## ■ 教育グループ

2015年度、「知の市場」において社会人を対象にした2つの公開講座、「原子力・放射能基礎論」と「化学工業特論」を開講しました。企業技術者向けには「初心者のための化学工学入門」講座を2014年度より開講しております。学生との交流の場としてケミカルエンジニアリング・カフェも開いております。また、環境再生保全機構の職員を対象にした出張講義も、2015年より始めました。2016年3月の化学工学会年会に於いては、活動成果をポスター発表いたしました。

## ■ 外部発信・交流グループ

**技術懇談会**：年5回開催し、外部講師から日本の文化・バイオプラスチック・水処理技術・水素社会・ペトリオミックス等最先端技術の講演をいただき、会員講師からも多岐にわたる技術・管理等の講演があり、外部の方を交えた幅広い懇親・交流の場となりました。

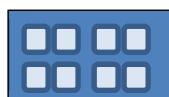
**窓**：直近では年間で、レポート4件・エッセイ12件、計16件の投稿があり、HPに掲載され、会員はじめ多くの人に読まれています。今年からはこの感想などをHP上に掲載できるようになり、更に交流の場を広げています。

## 沿 革

- 2000年4月 設立
- 2000年 NEDO 委託業務受託
- 2002年 安全、環境、エネルギー研究会発足、技術懇談会発足
- 2003年 「進化する化学技術」出版
- 2004年 装置材料研究会、教育研究会発足
- 2005年 お茶の水女子大学「化学・生物総合管理の再教育講座」で7科目開講
- 2007年 交流会発足
- 2009年 知の市場に参画 社会人向け公開講座開講
- 2010年 創立10周年記念
- 2011年 神奈川化学研究会発足、化学工学会第76年会化学産業技術フォーラム初参加
- 2014年 福島問題研究会発足、初心者のための化学工学入門講座開講

## 会員構成

(2016年5月現在)



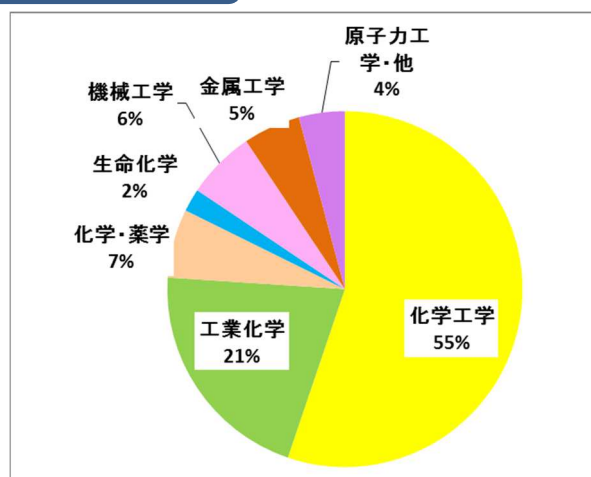
法人会員 18社  
賛助会員 1社



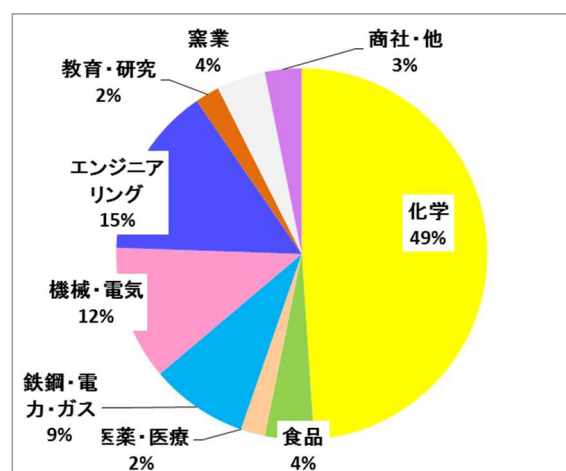
個人会員 95名

## 個人会員構成

### 専門分野



### 出身業界



### 取得資格

博士号取得者	工学 23名、理学1名、農学1名 化学工学上席技士4名
技術士	化学 11名、金属2名、水道1名、原子力・放射線3名
公害防止管理者	大気1種21名、水質1種29名、騒音4名、振動1名、主任1名
高圧ガス製造保安責任者	甲種機械10名、甲種化学21名、第一種冷凍機械1名、ガス主任技術2名
ISO 関係資格	8名
危険物取扱者（甲種）	28名
廃棄物処理設備管理者	4名
エネルギー管理士・ボイラー	エネルギー（含む熱）管理士10名 1級ボイラー技士1名 2級ボイラー技士1名
放射線取扱主任者	第1種放射線取扱主任7名、X線作業主任1名、原子力主任技術1名
環境カウンセラー・計量士	3名、作業環境測定士3名、環境計量士2名、一般計量士2名
衛生管理者	4名、統括1名、労働安全・衛生コンサルタント2名
その他資格者	18名

## 公益社団法人 化学工学会 産学官連携センター SCE・Net

URL : <http://www.sce-net.jp> 連絡先 : E-mail : [scenet@scej.org](mailto:scenet@scej.org) TEL : 03-3943-3527